

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	836 分館運営管理経費	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	05	社会教育費
		目	05	分館費
基本 施策	33 だれもが生きがいを持てる機会をつくる	細目	445	分館運営管理経費
		細々目	01	分館運営管理経費
行革大綱の重点事項番号		1		
担当部署	コード	451400		担当者 氏名
	名称	いがまち公民館		
		連絡先	45 - 9122	444

対象(誰を、何を)	地域市民及び歴史民族資料館来館者。	※対象件数
成果(どうする)	安心して施設を利用することが出来る。	
根拠法令・要綱等	社会教育法、伊賀市公民館条例	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	サークル団体等の生涯学習活動の拠点施設として、施設運営上の光熱水費及び保守点検並びに施設清掃委託を執行している。また、歴史民族資料館を併設しているために、来館者に対する案内なども行っている。	
社会情勢 の変化等	施設の運営管理保全が出来る。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
施設清掃業務	回		目標	11	目標	11
			実績	11	実績	11
電気保安業務	回		目標	7	目標	7
			実績	7	実績	7

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
柘植公民館利用延べ人数	利用者総数	利用者総数	人	目標	4600	目標	4600
				実績	4578	実績	5345
柘植歴史民族資料館入館者数	入館者総数	入館者総数	人	目標	2500	目標	2500
				実績	2188	実績	2619

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計(A)	1,813		6,813		1,742		1,679	
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	1,813		6,813		1,742		1,679	
事業投入人件費(B)	3.0	人	7,200	3.0	人	7,200	2.0	人
フルコスト(A)+(B)	9,013		14,013		16,142		16,079	

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	ホールは都美恵太鼓の練習拠点として、毎週2回定期的に有効利用されている。その他の会議室等もサークル団体など使用しているが、近くに市民センター(柘植地区市民センター)が出来たことで、今後サークルの利用者は減少していくことが予想される。また、歴史民族資料館を併設しているが、特別展示期間中は団体での入館者も多く増加している。
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	○	
市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○	
市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○	都美恵太鼓の活動拠点としてなくてはならない施設である。
サービス水準や対象を見直す余地がある。	○	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
予算の繰越の有無		
【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
【事業名】		
受益者負担を求められることができる事業である。		
全体コストにおける負担構成は適正である。		
コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	21年度に屋上雨漏改修工事を実施。3,337,425円
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 公民館及び歴史民族資料館ともに目標数値に比べて実績数値が増えた。特に、公民館の延入場者数はかなり増加した。しかしながら、近くに市民センターが22年度に開設されたことで、今後、サークル団体等の活動が市民センターへ移っていくことも考えられるため、サークル団体の利用者数は減少していくことが予想される。

担当課長氏名	中 義晴
【方向性】	現状維持
【理由】	サークル活動などは、柘植地区市民センターが近くに出来たことで、柘植公民館の利用者は減少していくことが予想される。しかし、ホールは都美恵太鼓の練習拠点でもあり、有効的に利用されている。また、歴史民族資料館を併設しているが、特別展示の開催期間中などは団体での来館者も多く入場者は増えてきている。
現時点における課題、その他	課題なし
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	